

Swedish Radio Choir

神が与えた最高の楽器、“声”によるハーモニー



スウェーデン放送合唱団

ペーター・ダイクストラ [指揮]

ヨハン・ウッレン / マグヌス・ショルド [ピアノ]*

ペルト: **それは…の息子であった** (2000)

Pärt: Which Was the Son of ... (2000)

シュニトケ: **3つの聖歌** (1984)

Schnittke: Drei geistliche Gesänge für gemischten Chor (1984)

ストラヴィンスキー: **詩篇交響曲** (1930, rev.1948) [ショスタコーヴィチによる4手ピアノ版による]*

Stravinsky: Symphony of Psalms (1930, rev.1948) [Transcription for piano 4 hands by Shostakovich]

スヴェン=ダヴィッド・サンドストロム: **モテット《歌え、主に向かい新しい歌を》** (2003)

Sven-David Sandström: Motet "Singet dem Herrn" (2003)

J.S.バッハ: **モテット《来たれ、イエスよ、来たれ》 BWV229**

J.S.Bach: Motet "Komm, Jesu, komm" BWV229

スヴェン=ダヴィッド・サンドストロム: **アニュス・デイ** (1980)

Sven-David Sandström: Agnus Dei (1980)

J.S.バッハ: **モテット《歌え、主に向かい新しい歌を》 BWV225**

J.S.Bach: Motet "Singet dem Herrn ein neues Lied" BWV225



Peter Dijkstra, conductor

2019年**11月26日**[火] 19:00開演

東京オペラシティ コンサートホール: タケミツ メモリアル

S: ¥5,000 A: ¥4,000 B: ¥3,000 (全席指定・税込) 演奏会当日に残席がある場合、学生券を¥3,000で発売します。(要学生証)

東京オペラシティArts夏の会 優先発売: 7月6日[土] 「インターネット予約」会員優先発売: 7月11日[木] 一般発売: 7月13日[土]

東京オペラシティチケットセンター: 03-5353-9999 <http://www.operacity.jp>

チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 152-201) <http://t.pia.jp> イープラス: <http://eplus.jp>

パシフィック・コンサート・マネジメント: 03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp>

●曲目、出演者等は、変更になる場合がございますのでご了承ください。●就学前のお子様の同伴ご入場はご遠慮ください。●ネットオークション等での営利目的の転売はお断りいたします。

主催: 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 協賛: ジャパンリアルエステイト投資法人 / NTT都市開発株式会社

Swedish Radio Choir

演奏家とホールの幸福な関係。

世界中でその美しい歌声を披露する、最高峰の実力と人気を誇る合唱団。

透明でありながらリッチなスウェーデン放送合唱団の歌声は、東京オペラシティ コンサートホールの響きと抜群の相性で、指揮者のダイクストラに「このホールに立つと、不可能な事などひとつもないと感じてしまう」と言わしめるほど。このほど音楽監督の任期を終え、10年以上にわたったこのコンビの集大成ともいえるこの来日公演では、これまでの成果を堪能できる、さまざまなスタイルの作品でプログラムは組まれています。

清澄な祈りの音楽が特徴のペルト作品、神聖なハーモニーを聴かせるシュニトケの《3つの聖歌》に続いて、輝かしいストラヴィンスキーの《詩篇交響曲》をショスタコーヴィチ編曲の4手ピアノ版とともに演奏します。近年出版されたこの編曲で多くの合唱団の新しいレパートリーになるのではないのでしょうか。後半には、地元スウェーデンのスヴェン=ダヴィッド・サンドストレム(1942~)とJ.S.バッハ、2人の作曲家によるモテットをお届けします。神が与えた最高の楽器、“声”による美しいハーモニーをお楽しみください。

11月に再び東京オペラシティ コンサートホールにスウェーデン放送合唱団と来られるのは大変嬉しく、今からこの日が待ち遠しいです。なぜなら私たちは過去に何度もこのホールで歌っており、そのたびに素晴らしい体験をしています。そしてまた、今回は興味深いプログラムをお届けいたします。

バッハはもちろん、スウェーデン出身の作曲家、スヴェン=ダヴィッド・サンドストレムの曲もいくつかお聴きいただきたいと思います。

特に注目して頂きたいのはストラヴィンスキーの詩篇交響曲です。この曲は合唱付きの交響曲で通常はオーケストラと演奏されますが、今回はショスタコーヴィチ編曲による4手連弾の伴奏とともにお届けいたします。

こちらは最近発見されたもので、特に日本の聴衆の方には関心を持って頂けるものではないかと、私たちが非常に楽しみにしております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ペーター・ダイクストラ

ペーター・ダイクストラ (指揮) Peter Dijkstra, conductor



1978年、オランダ生まれ。指揮法および声楽を、ハーグ王立音楽院、ケルン音楽大学、ストックホルム音楽大学に学び、合唱指揮の大家であるエリック・エリクソン、トヌ・カリユステ等の薫陶を受ける。2003年エリック・エリクソン・コンクールで優勝し、国際的な注目を集めた。2005~16年までバイエルン放送合唱団の、2007~18年まで名門スウェーデン放送合唱団の音楽監督を務めた。2015年からオランダ室内合唱団の首席指揮者、2018年からオランダ放送合唱団の首席客演指揮者を務めている。レパートリーは古楽から現代作品の初演まで広範囲にわたり、BBCシンガーズ、デンマーク国立合唱団、ベルリン放送合唱団等の主要な合唱団のほか、バイエルン放送交響楽団、スウェーデン放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団等の著名オーケストラの客演指揮者としても高く評価されている。混声声楽アンサンブルMUSAの芸術監督、声楽アンサンブルThe Gentsの客演指揮者を務めている。

スウェーデン放送合唱団 Swedish Radio Choir



1925年に創設され、1952年に合唱の神様と称されるエリック・エリクソンが音楽監督に就任し、現在の形態となった。以来飛躍的発展を遂げ、スウェーデンの音楽界はもとより欧米各地へのツアーや録音を通じて、世界のトップ・アンサンブルとしての地位を確立。その後、アンデシ・オルウェル、グスタフ・ショークヴィスト、トヌ・カリユステという巨匠たちに引き継がれ、2007

年よりペーター・ダイクストラが音楽監督に就任。2018年7月をもってダイクストラは退任、今シーズンは音楽監督をおかず活動している。兄弟関係にあるスウェーデン放送響をはじめ、フィルハーモニア管、ミラノ・スカラ座フィル等のオーケストラと、ゲルギエフ、プロムシュテット、ムーティ等の指揮者と共演。なかでもベルリン・フィルとは厚い信頼で結ばれており、アバドの要請で出演した定期演奏会や録音のほか、1996年来日公演での「第九」復活は空前の大絶賛を博した。日本でも度々来日公演を行っており、2年連続でN響ベスト・ソリスト賞を受賞した。

演奏会についてのお問い合わせ

東京オペラシティ文化財団 <http://www.operacity.jp>
〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 Tel.03-5353-0770

東京オペラシティ Arts友の会 会員募集中 入会金無料 年会費3,000円(税別)

【特典】主催公演の優先予約と10%割引 ほか Arts友の会 事務局 Tel.03-5353-0799



公演詳細



【交通のご案内】

- 京王新線 初台駅東口(徒歩5分以内)
 - 小田急線 参宮橋駅より徒歩約15分
 - 渋谷よりバス(約20分)
- 京王バスー波61、波63、波64、波66 都営バスー波66
コンサートホール、リサイタルホールへお車でご来場の際は、駐車料金割引制度をご利用いただけます。

JRE
INVESTMENT CORPORATION

JREは日本最大級のJリートです。
私達は東京オペラシティ文化財団に
協賛しています。

東京証券取引所上場 証券コード：8952

ジャパンリアルエステイト投資法人

ホームページURL <http://www.j-re.co.jp/>

NTT都市開発



NTT都市開発の住まい「ウエリス」 <https://wellith.jp/>